

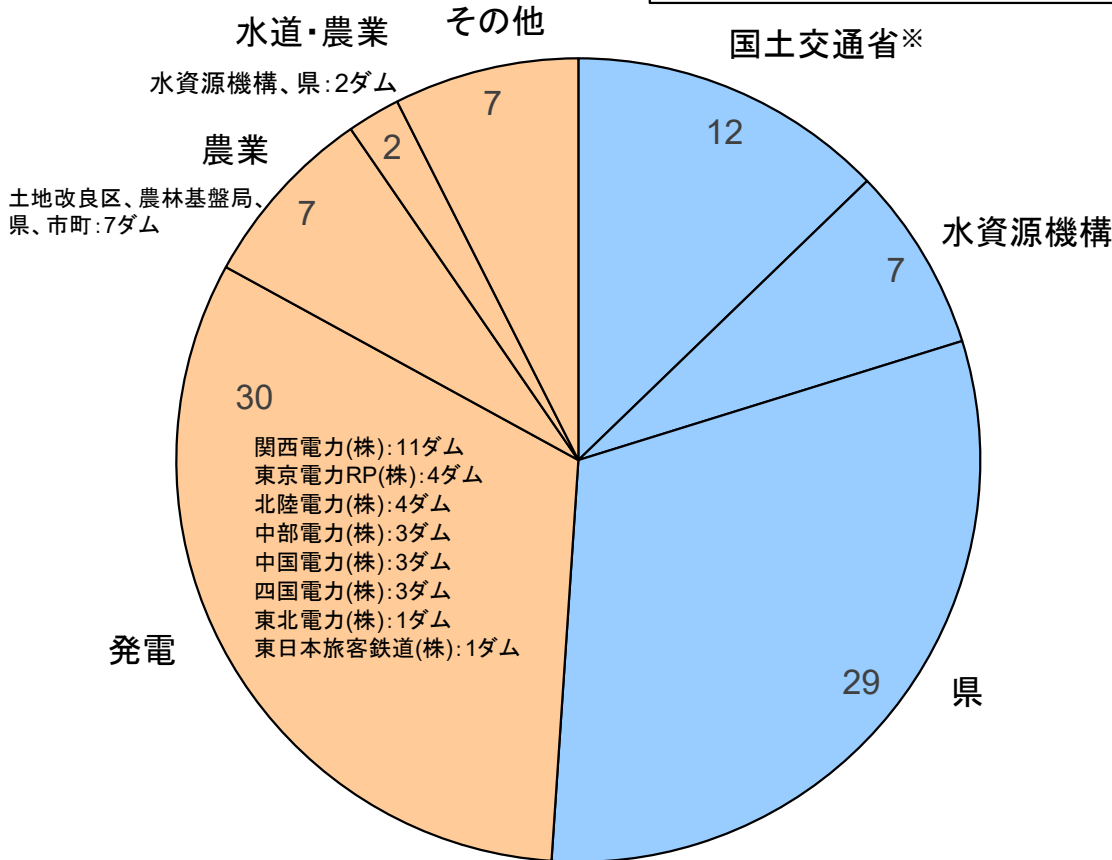
# 令和3年度出水期における事前放流の実施状況(総括)

- 令和3年度においては全国の計94ダムで事前放流を実施(うち46ダムは利水ダム)。(令和3年5月18日～)
- このうち、令和3年8月の前線停滞に伴う大雨(11日～19日)においては全国の計69ダムで事前放流を実施(うち32ダムは利水ダム)。

＜令和3年度に事前放流を実施した94ダムの管理者＞

＜令和3年度の事前放流実施ダム数＞

■ 治水等(多目的)ダム ■ 利水ダム



治水等(多目的)ダム (国土交通省※)	12 ダム
治水等(多目的)ダム (水資源機構)	7 ダム
治水等(多目的)ダム (県)	29 ダム
利水ダム	46 ダム

計: 94ダム

＜上表のうち、令和3年8月の前線停滞に伴う大雨(11日～19日)の事前放流実施ダム数＞

治水等(多目的)ダム (国土交通省※)	9ダム
治水等(多目的)ダム (水資源機構)	7ダム
治水等(多目的)ダム (県)	21ダム
利水ダム	32ダム

※内閣府沖縄総合事務局含む

計: 69ダム

# 令和3年度出水期における事前放流の実施状況(総括)

別紙資料



国土交通省

11月16日時点

## 令和3年度の主な降雨

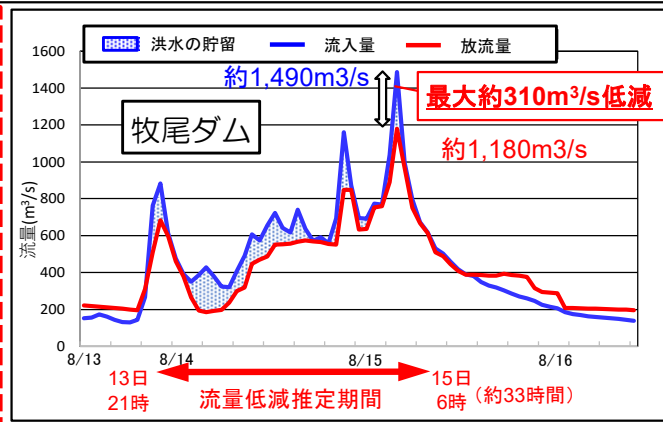
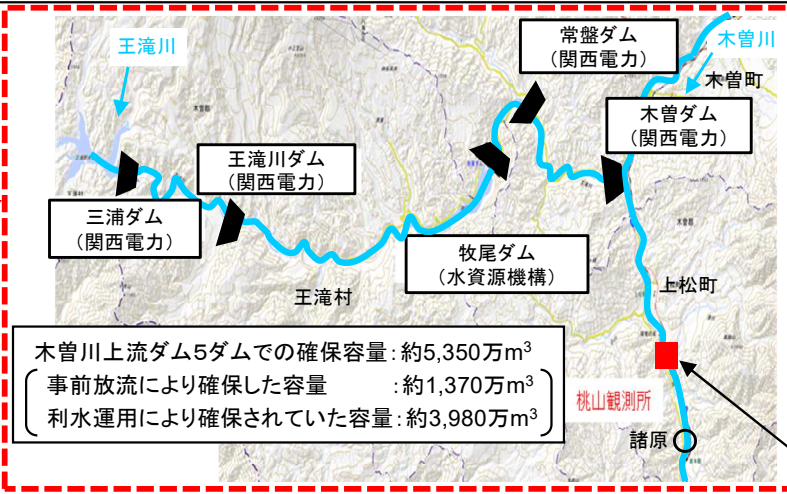
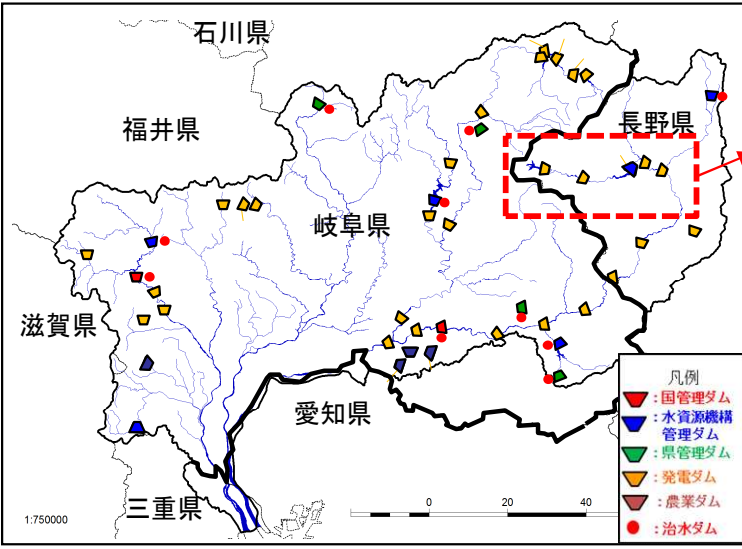
		令和3年度の主な降雨								
		6月末から7月上旬 梅雨前線大雨	台風第6号	台風第9号	8月中旬 前線大雨	台風第12号	台風第14号	台風第16号	その他	合計 (ダム数は重複除く)
1級 水系	ダム数 (括弧内は延べ数)	6(6)	0(0)	7(7)	64(73)	2(2)	8(8)	0(0)	4(6)	77(102)
	確保容量 (万m <sup>3</sup> )	896	0	241	7,475	232	49	0	733	9,626
2級 水系	ダム数 (括弧内は延べ数)	3(3)	4(4)	6(6)	5(5)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)	17(20)
	確保容量 (万m <sup>3</sup> )	152	83	85	146	0	0	47	0.3	514
合計	ダム数 (括弧内は延べ数)	9(9)	4(4)	13(13)	69(78)	2(2)	8(8)	1(1)	5(7)	94(122)
	確保容量 (万m <sup>3</sup> )	1,048	83	327	7,622	232	49	47	734	10,140
東京ドーム換算		8 個分	0.7 個分	3 個分	61 個分	2 個分	0.4個分	0.4 個分	6 個分	82 個分
ハツ場ダム換算		0.1 個分	0.01 個分	0.04 個分	0.8 個分	0.03 個分	0.01 個分	0.01 個分	0.1 個分	1.1 個分

# 木曽川上流ダムにおける事前放流の実施状況と利水ダムによる効果

- 木曽川水系の上流(長野県内)では、牧尾ダム(水資源機構管理)、木曽ダム、常盤ダム、三浦ダム(関西電力管理)で事前放流を行い、王滝川ダム(関西電力管理)と合わせて5つの利水ダムに約5,350万m<sup>3</sup>の容量を一時的に確保して洪水を貯留。
- 下流の長野県木曽郡上松町の桃山地点において、上流の5つの利水ダムでの洪水の貯留により、長時間にわたり河川の流量を減らし、ピーク流量を約2割(約730m<sup>3</sup>/s)減らす効果があったと推定。
- これにより、桃山地点下流で約0.7mほど水位が低下し、右岸側(上松町諸原地先)の生活道路である町道及び住宅の冠水を回避したと推定。

※速報値であり精査の結果変わる可能性あり

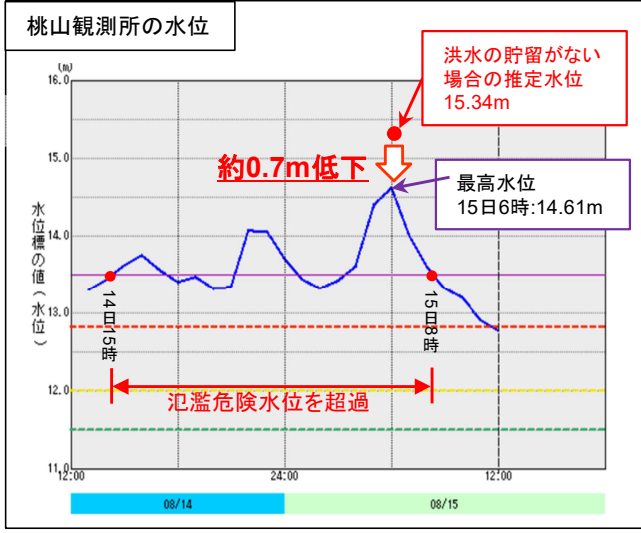
## 木曽川水系のダム(45ダム)



桃山地点の流量を約2割低減させる効果

## 牧尾ダム(水資源機構管理: 農業・水道・工業用水道・発電)

※治水なし



## 上松町諸原地先



# 信濃川上流ダムにおける事前放流の実施状況と利水ダムによる効果

- 信濃川水系犀川(長野県)では、8月13日～15日に、奈川渡ダム等3ダム(利水)で利水運用と事前放流により合計 約2,460万m<sup>3</sup>の容量を確保して洪水を貯留し、下流の熊倉地点(長野県安曇野市)において、洪水流量を約3割減らす効果があったものと推定。
- 事前放流による洪水流量の低減により、ダム直下の犀川急流部で発生した堤防欠損被害の侵食を抑制。その結果、甚大な堤防欠損につながらず、短期間に復旧(発生より約4日で完了)することができたところ。

※速報値であり精査の結果変わる可能性あり

信濃川水系上流部利水ダムの効果 8月13日～15日

